

園におけるアレルギー疾患生活管理指導表(気管支喘息・アトピー性皮膚炎)

◎ この生活管理指導表は園での生活において特別な配慮や管理が必要になった子どもに限って、医師が作成するものです。

名前	男 女	年 月 日生	歳 ヶ月	組
----	--------	--------	------	---

気管支喘息(あり・なし)	
病型・治療	園での生活上の留意点
A. 症状のコントロール状態 1. 良好 2. 比較的良好 3. 不良	A. 寝具に関する留意点 1. 管理不要(通常管理のみ) 2. 防ダニシーツ等の使用 3. その他の管理が必要()
B. 長期管理薬 (短期追加治療薬を含む) 1. ステロイド吸入薬 剤形: 投与量(日): 2. ロイコトリエン受容体拮抗薬 3. DSCG(インターール)吸入薬 4. ベータ刺激薬 (内服・貼付薬) 5. その他 ()	
C. 急性増悪(発作)治療薬 1. ベータ刺激薬吸入 2. ベータ刺激薬内服 3. その他	B. 動物との接触 1. 管理不要 2. 動物への反応が強いため不可 動物名() 3. 飼育活動等の制限()
D. 急性発作時の対応 (自由記載)	
C. 外遊び、運動に対する配慮 1. 管理不要 2. 管理必要(内容:)	
D. 特記事項 (その他に特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談の上記載。対応内容は園が保護者と相談上決定)	
記載日 年 月 日	医療機関名
医師名	

アトピー性皮膚炎(あり・なし)	
病型・治療	園での生活上の留意点
A. 重症度のめやす(厚生労働科学研究班) 1. 軽症:面積に関わらず、軽度の皮疹のみみられる。 2. 中等症:強い炎症を伴う皮疹が体表面積の10%未満にみられる。 3. 重症:強い炎症を伴う皮膚湿疹が体表面積の10%以上、30%未満に見られる。 4. 最重症:強い炎症を伴う皮疹が体表面積の30%以上にみられる。 ※軽度の皮疹:軽度の紅斑、乾燥、落屑主体の病変 ※強い炎症を伴う皮疹:紅斑、丘疹、びらん、浸潤、苔癬化などを伴う病変	A. プール・水遊び及び長時間の紫外線下での活動 1. 管理不要 2. 管理必要()
B-1. 常用する外用薬 1. ステロイド軟膏 2. タクロムリス軟膏 (「プロトピック®」) 3. 保湿剤 4. その他 ()	
B-2. 常用する内服薬 1. 抗ヒスタミン薬 2. その他()	B. 動物との接触 1. 管理不要 2. 動物への反応が強 強いため不可 動物名() 3. 飼育活動等の制限 () 4. その他()
C. 食物アレルギーの合併 1. あり 2. なし	
D. 特記事項 (その他に特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談の上記載。対応内容は園が保護者と相談上決定)	
記載日 年 月 日	医療機関名
医師名	

★園側受理日 年 月 日